

2020 年度退職教員の紹介

部 局 名	大学院総合文化研究科・教養学部	
氏 名	岩本 通弥	
職 名	教授	
本学在職期間	1995 年 4 月～2021 年 3 月	
所 属	超域文化科学専攻 文化人類学講座	
専 門 分 野	民俗学	
略 歴	<p>1978 年 3 月 筑波大学第一学群人文学類卒業</p> <p>1986 年 3 月 筑波学大学院博士課程歴史・人類学研究科満期退学</p> <p>1987 年 4 月 国立歴史民俗学物館民俗研究部助手</p> <p>1990 年 3 月 韓国・中央大学校日本研究所客員研究員（文部省在外研究員、1991 年 1 月まで）</p> <p>1991 年 4 月 東海大学文学部文明学科アジア専攻日本課程講師（専任）</p> <p>1995 年 4 月 東京大学教養学部助教授</p> <p>1996 年 4 月 東京大学大学院総合文化研究科助教授（配置換）</p> <p>2004 年 7 月 韓国・中央大学校日本研究所客員研究員（日韓文化交流基金、2005 年 3 月まで）</p> <p>2006 年 4 月 東京大学大学院総合文化研究科教授</p> <p>2011 年 6 月 ハンブルク大学民俗学/文化人類学研究所客員研究員（JSPS +DAAD 派遣、2012 年 1 月まで）</p> <p>2016 年 4 月 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻長（～2017 年 3 月）</p>	
研究内容	<p>岩本通弥（編著）『方法としての〈語り〉—民俗学をこえて』ミネルヴァ書房、2020 年</p> <p>岩本通弥（共編著）『民俗学の思考法—〈いま・ここ〉の日常と文化を捉える』慶應義塾大学出版会、2021 年</p>	